

Care and Maintenance

INKJET PRINTER
UJV300DTF-75

お手入れのお願い

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

目次

はじめに	3
安全にお使いいただくために	4
シンボルマーク表示について	4

メンテナンス

1. メンテナンスに関するご注意	6
2. メンテナンスの方法	7
メンテナンス項目とタイミング	7
インクのメンテナンス	9
ワイパーの清掃	9
キャップゴムの清掃	12
NCUの清掃	13
キャリッジ底面の清掃	13
ミストフィルターの清掃	15
インク排出経路の洗浄	16
メディアセンサーの清掃	17
メディア押さえの清掃	18
ジャムセンサーの清掃	18
プラテンの清掃	19
カバー（外装）の清掃	20
ピンチローラーの清掃	20
圧着ローラー発泡材の位置確認と調整	22
長期間使用しないときは	23
3. 消耗品の交換	26
ワイパーの交換	26
キャップ吸収材の交換	27
ミストフィルターの交換	29
排気ファンフィルターの交換	30
ピンチローラーの交換	31
メディア押さえの交換	32
廃インクタンクの交換	34
インクボトルキャップの交換	36

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター UJV300DTF-75をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、お手入れのお願い（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2025 株式会社ミマキエンジニアリング

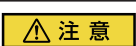
● 免責事項

- UJV300DTF-75（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

メンテナンス

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

1. メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

2. メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
1日の作業が終わったとき	ワイパーとワイパーブラケットを清掃してください。☞「ワイパーの清掃」(P. 9)
	ワイパークリーナーを清掃してください。☞「ワイパーの清掃」(P. 9)
	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」(P. 12)
	NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 13)
	UV-LEDランプの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 13)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 13)
	ミストフィルター1 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞「ミストフィルターの清掃」(P. 15)
	メディアセンサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 17)
	メディア押さえを清掃してください。☞「メディア押さえの清掃」(P. 18)
1週間の作業が終わったとき	ワイパーのインク受けのインク吸収材 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞「ワイパーの清掃」(P. 9)
	ミストフィルター2 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞「ミストフィルターの清掃」(P. 15)
	インク排出の経路を清掃してください。☞「インク排出経路の洗浄」(P. 16)
	プラテンを清掃してください。☞「プラテンの清掃」(P. 19)
	カバー（外装）を清掃してください。☞「カバー（外装）の清掃」(P. 20)
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。
汚れが目立つとき	排気ファンフィルターを交換してください。☞「排気ファンフィルターの交換」(P. 30)
	排気ファンBOXを交換してください。
隙間が目立つとき	圧着ローラーの発泡材の間に隙間がある時は、位置を調整してください。☞「圧着ローラー発泡材の位置確認と調整」(P. 22)
	排気ファンBOXを交換してください。

タイミング	項目
1週間以上使わないとき	ワイパーの清掃、キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了した後は、主電源は切らずに保管してください。🔧 「 長期間使用しないときは 」 (P. 23)
定期的に	インクボトルを振ってください。🔧 「 インクのメンテナンス 」 (P. 9)
	インクボトルのキャップを交換してください。🔧 「 インクボトルキャップの交換 」 (P. 36)
メッセージが出たとき	ピンチローラーを清掃してください。🔧 「 ピンチローラーの清掃 」 (P. 20)
	ピンチローラーを交換してください。🔧 「 ピンチローラーの交換 」 (P. 31)

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクボトルを振っていただくことをお勧めします。

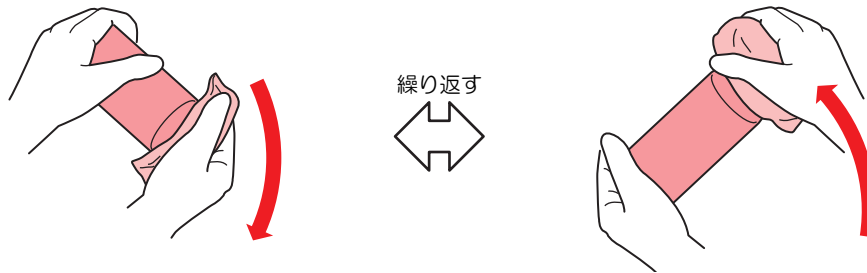
UVインク：1か月に1回程度。

ホワイトインク：1日に1回程度。

● インクボトルを振る

1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- ・インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- ・ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- ・使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面を傷つけて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

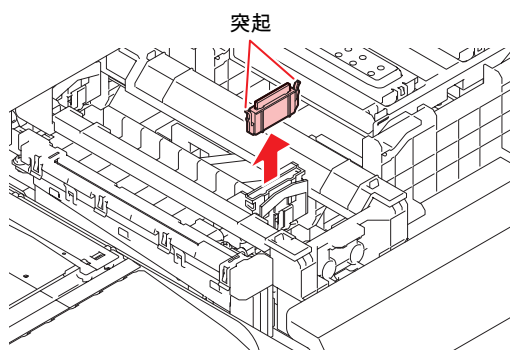
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

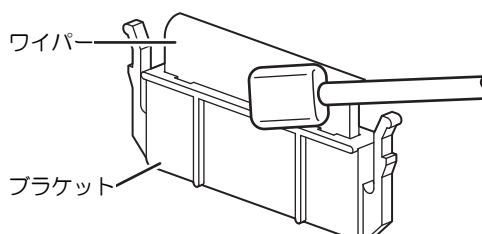
4 ワイパーを外す。

- ・ ワイパーブラケットの両端の突起を持って引き抜きます。



5 ワイパーとブラケットを清掃する。

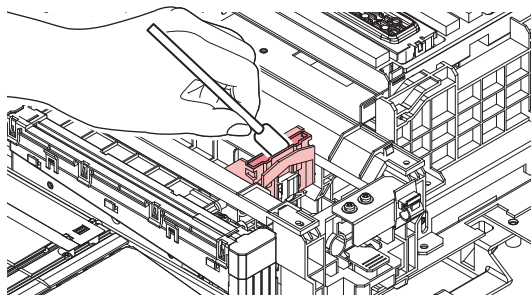
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



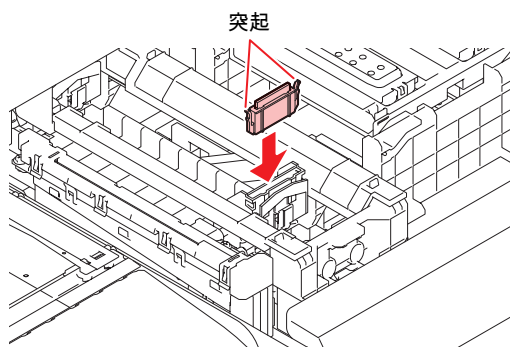
- ・ ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。🔗 「ワイパーの交換」 (P. 26)

6 ワイパースライダーを清掃する。

- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

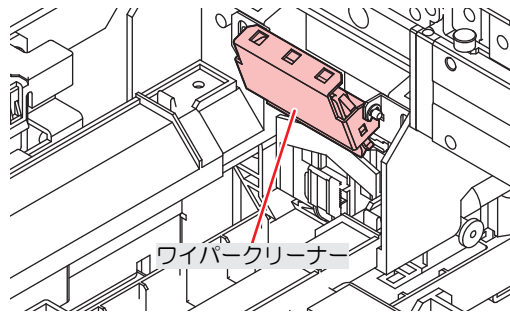


7 ワイパーを元の位置にセットする。



8 ワイパークリーナーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



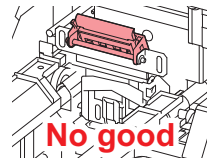
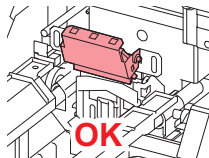
- ワイパークリーナーのワイパーは、表面だけ清掃します。裏面の清掃は必要ありません。



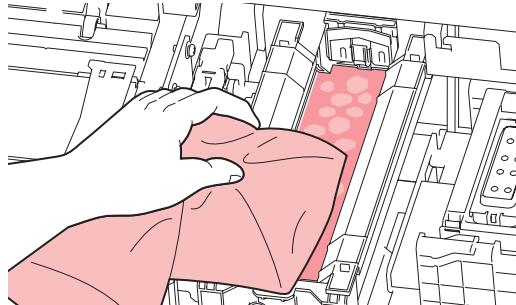
- ワイパークリーナーは、ブラケットから取り外さないでください。



- 清掃が終了したあとに、ワイパークリーナーが上を向いていないことを確認してください。



- 1週間に1回、紙タオルなどを使い、インク受けの中のインクを吸い取ってください。インクが溢れるおそれがあります。



- 吸収材ケースの中の吸収材は、取り外さないでください。インクが溢れるおそれがあります。

9 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

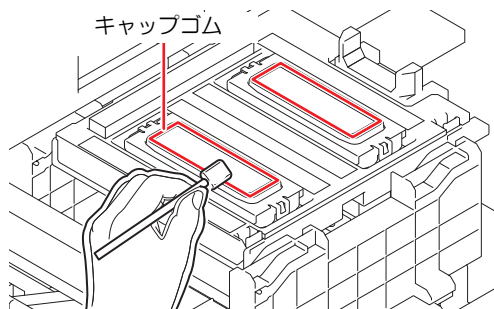
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

4 キャップゴムを清掃する。

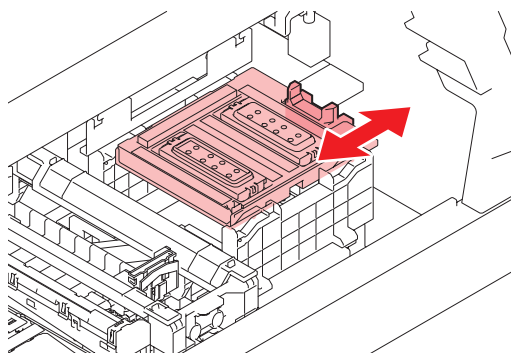
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったら、キャップスライダーの傾きを確認する。



- ・ キャップスライダーが傾いている場合、スライダーブロックを左右へ動かして、傾きを直してください。



6 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

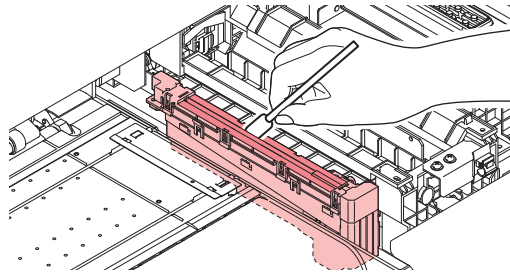
NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

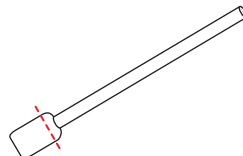


- ・クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 NCUを清掃する。
 - ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



- 5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。

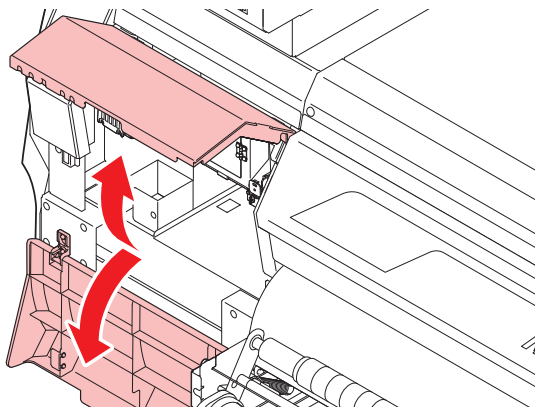


- ・クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。

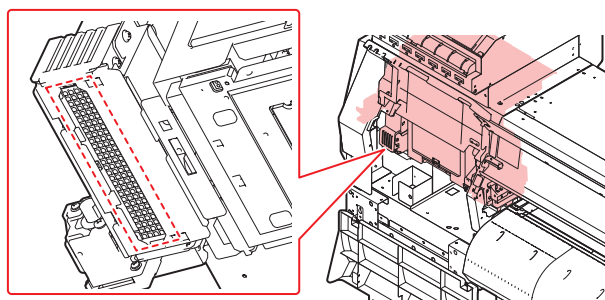
- 2** [ステーションメンテ]>[キャリッジアウト]>[ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- ・キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

- 3** メンテナンスカバーを開く。



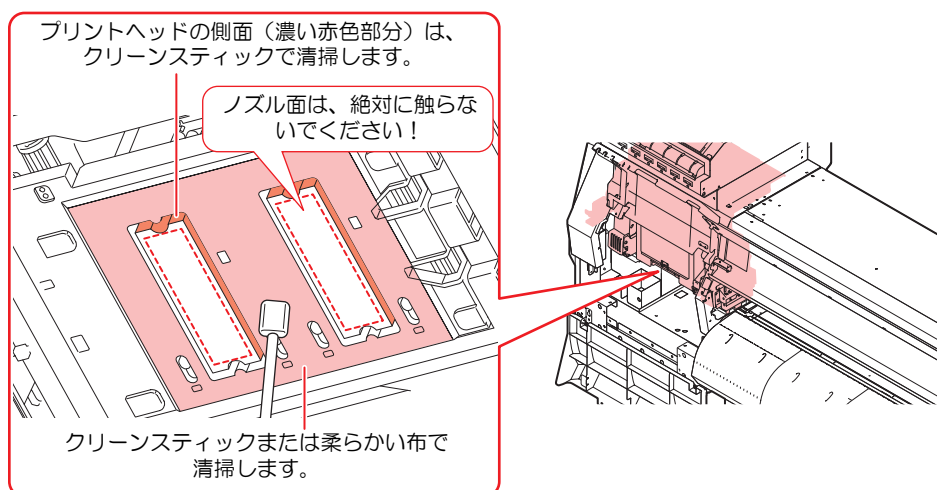
- 4** UV-LEDランプを清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- 5** プリントヘッド周辺を清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

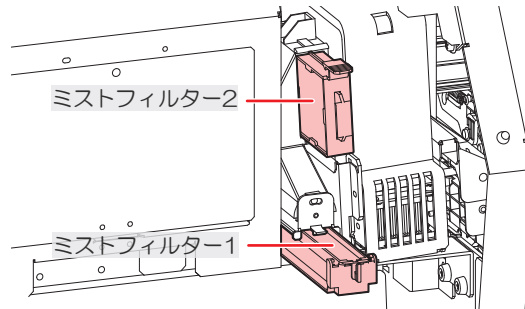


- ・プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。

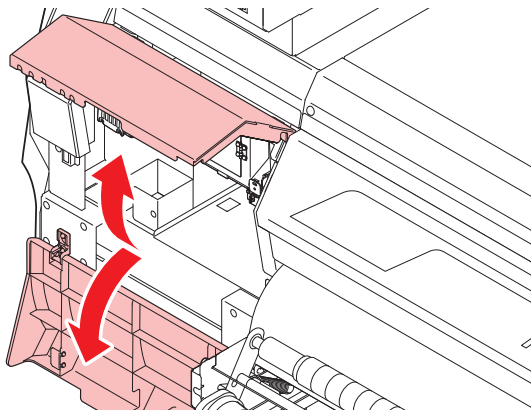
- 6** 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

ミストフィルターの清掃

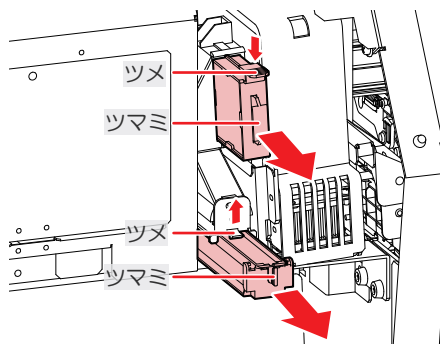
ミストフィルターは、プリントヘッドからインク滴を吐出した際に発生するミストを吸収しています。汚れたまま使い続けると、成果物を汚してしまう原因になります。



- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



- 4 ミストフィルターを外す。
・ ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて外します。

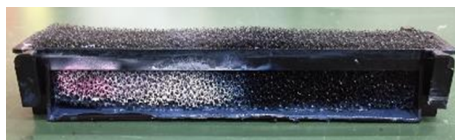


- 5 フィルターを清掃する。
・ フィルターを外して、紙タオルなどで押さえて汚れを落とします。
・ フィルターケースに付着した汚れを拭き取ります。



- ・ フィルターについたインクが液状化するなど、汚れがひどい場合は、フィルターを交換してください。

 「ミストフィルターの交換」 (P. 29)

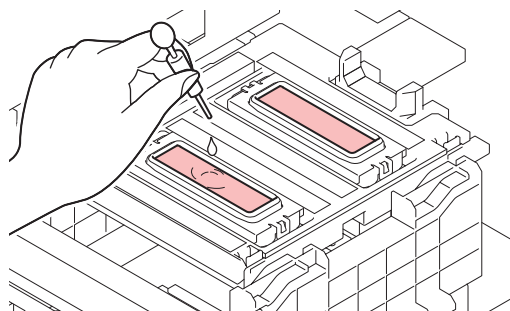


- 6 ミストフィルターを元の位置にセットする。
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

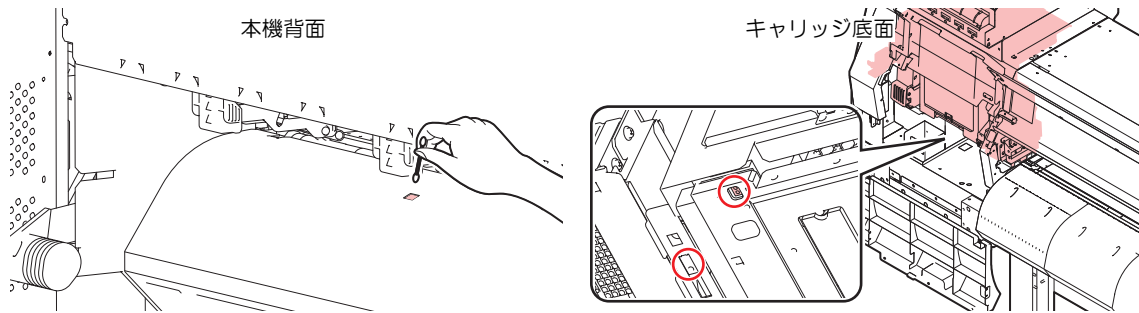
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
 - ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。
 - ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



- 5 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

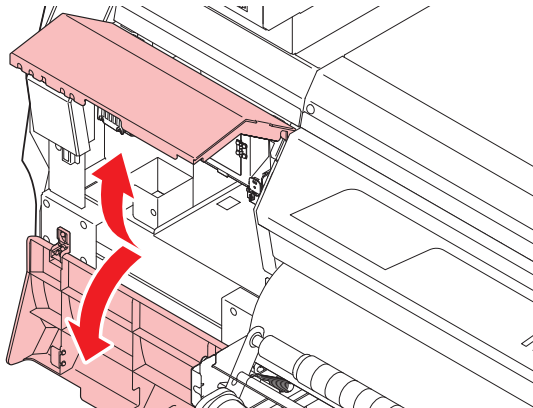
メディアセンサーの清掃

背面側のリアカバーとキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



- 4 メディアセンサーを清掃する。
- 5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

メディア押さえの清掃

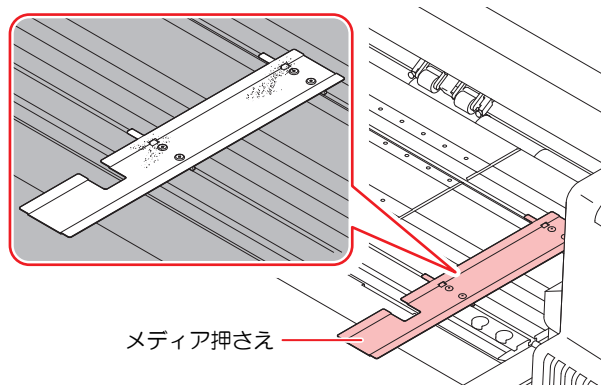


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

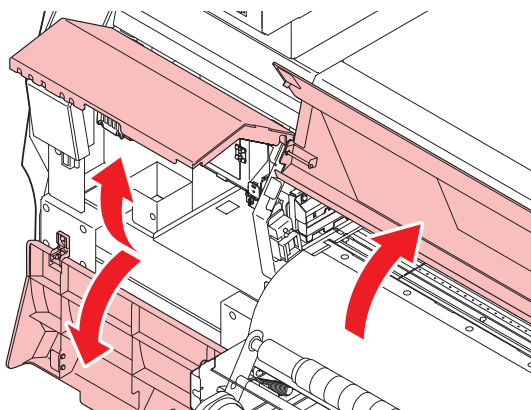


- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

ジャムセンサーの清掃

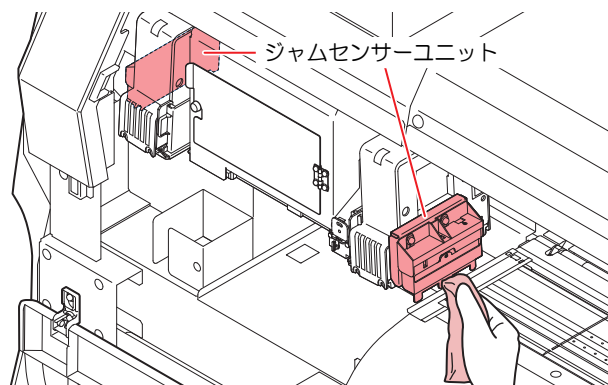
キャリッジ両側のUV-LEDユニット側面に、ジャムセンサーユニットが付いています。センサーユニットにインク汚れやホコリがたまると、メディアジャムの原因になります。紙タオル等で清掃してください。

- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 正面カバーとメンテナンスカバーを開く。



4 キャリッジの左右にある、ジャムセンサーユニットを清掃する。

- ジャムセンサー下部を重点的に、正面カバー側とメンテナンスカバー側の両方から清掃してください。
- メンテナンス液を含ませた紙タオルで、付着したインクやホコリを拭き取ります。清掃後は、メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

プラテンの清掃

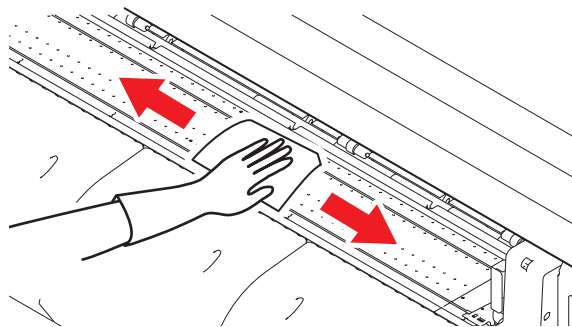


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

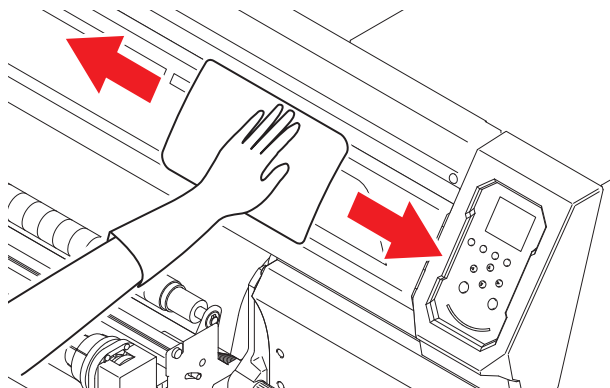


- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

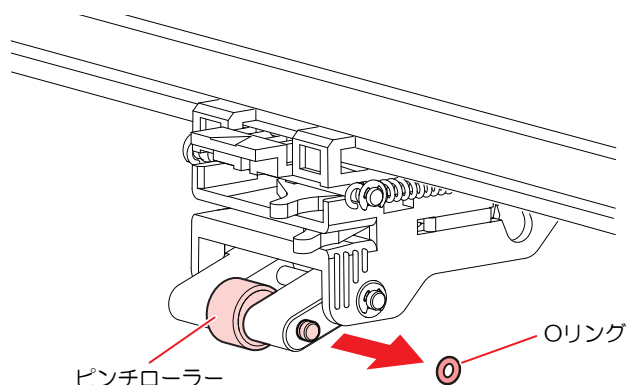
ピンチローラーの清掃

本機は印刷距離をカウントして、規定値になるとディスプレイに“ピンチローラー清掃”が表示されます。糊剤の乱れやピンチローラーへの貼り付きが発生するときもピンチローラーを清掃してください。



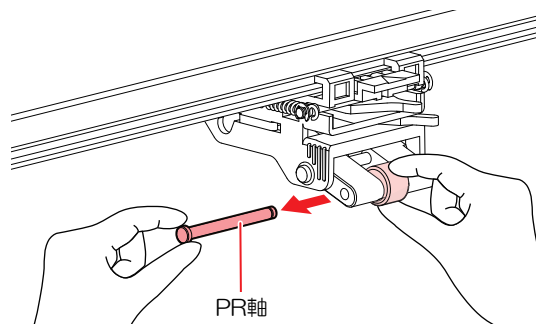
- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 ピンチローラーを固定しているOリングを外す。



- 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

4 PR軸を外す。



5 ピンチローラーを中性洗剤か弱アルカリ性の洗剤で洗淨する。



6 洗剤を水で洗い流す。



- スポンジ等で表面の汚れをこすり落とすように洗淨してください。
- 洗淨後は30分以上乾燥させてください。

7 洗淨したピンチローラーをセットして、Oリングで固定する。

8 正面カバーを閉じる。

9 電源を入れる。

10 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] > [ピンチローラー] > [交換] を選択して、[ENTER] キーを押す。

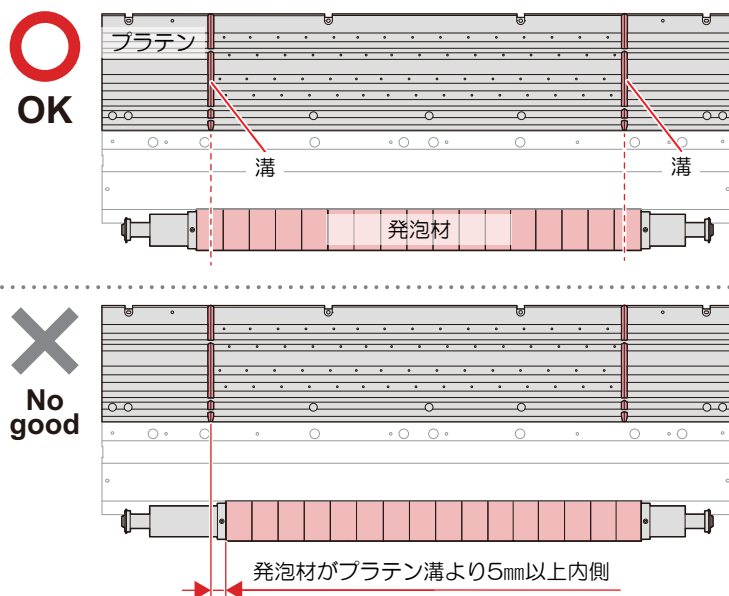
- 実行すると、清掃メッセージが消えます。

圧着ローラー発泡材の位置確認と調整



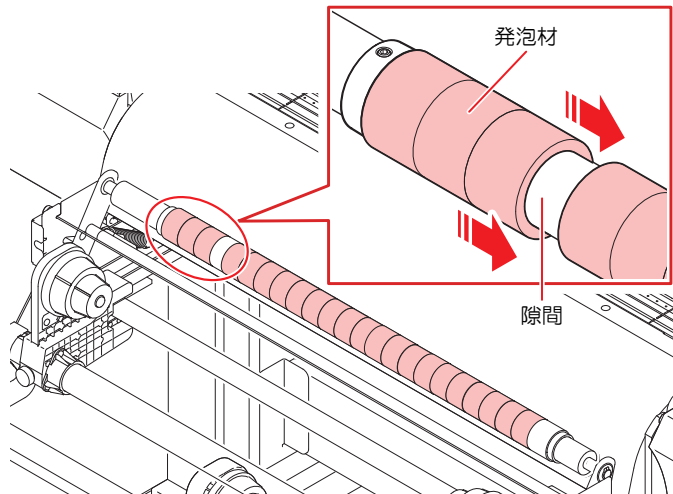
- 発泡材が適切な位置にあることを確認してください。

(1) 圧着ローラーの発泡材の両端が、プラテンの溝より外側にあれば適正です。プラテン溝より発泡材が内側にある場合、その間が4mm以下であれば問題ありません。5mm以上内側に発泡材がある場合は、メディアの搬送に支障が出る恐れがあります。



(2) 圧着ローラーの一つひとつの発泡材の間に隙間がある場合も、発泡材の位置を移動させてください。

発泡材同士が強く当たると、圧着時に気泡が発生しやすくなります。発泡材の間の隙間がなくなったら、それ以上強く押さないでください。



圧着ローラーの発泡材が適正な位置にない場合は、以下の手順に従って取り付け位置を調整します。



- 使用する工具

(1) 六角レンチ（対辺1.5mm）

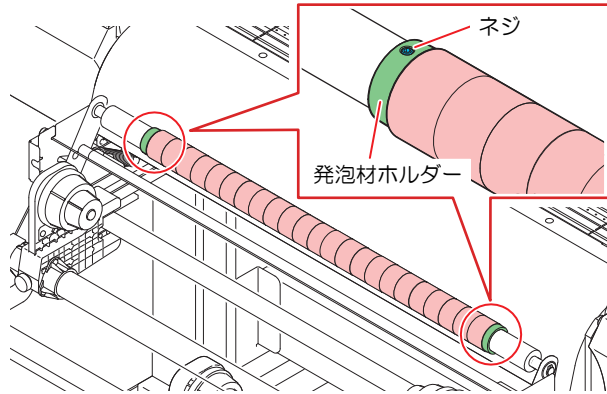
- 付属品として本機に同梱しています。

1 発泡材ホルダーの固定ネジを緩める。

- 付属の六角レンチを使ってネジを緩めます。



- 位置が均等になるように、発泡材ホルダーは左右両方の固定ネジを緩めて、調整してください。

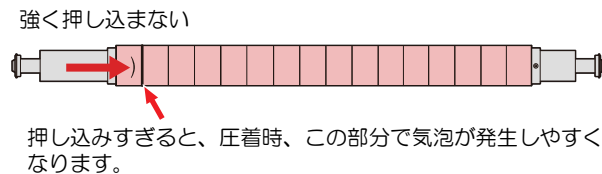


2 発泡材の位置を移動する。

- 隣り合う発泡材同士が、隙間なく平らに並ぶように発泡材を移動します。
- プラテンの溝に対して、左右の発泡材が適正な位置にくるように確認してください。



- 発泡材同士が強く当たると、圧着時に気泡が発生しやすくなります。発泡材の間の隙間がなくなったら、それ以上強く押さないでください。



3 発泡材ホルダーを発泡材に接触させた状態で、ホルダーの固定ネジを締める。

4 圧着ローラーを手でゆっくりと回転させ、ローラー全域で、発泡材の間に隙間がないことを確認する。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド] は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

4 ワイパーとブラケットを清掃する。

- 「ワイパーの清掃」 (P. 9)

5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。

- ・ ディスプレイに"キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]"と表示されます。

6 キャップゴムを清掃する。

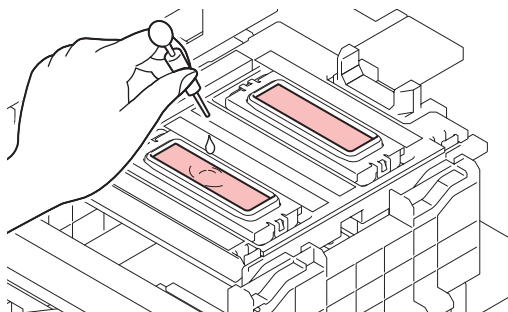
- ・  「キャップゴムの清掃」 (P. 12)

7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。

8 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

- ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



9 ▲▼を押して、放置時間を入力する。(FW バージョン3.2以降より対応)

- ・ 放置時間の推奨時間は1分です。

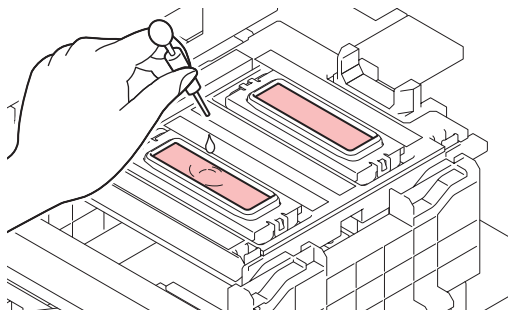
10 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ・ プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- ・ プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。

11 正面カバーを開く。

12 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

- ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

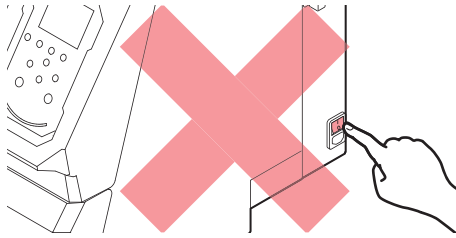


13 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ・ ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。



- ディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されたら、以下を実施してください。

☞ 「[廃インクタンクの交換](#)」（P. 34）



- 本機を使用しないときは、圧着ローラーを上げて圧着ローラーとアフターカバーを離してください。

圧着ローラーを下げたまま放置すると、圧着ローラーが変形して、正常に圧着できなくなるおそれがあります。

3. 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

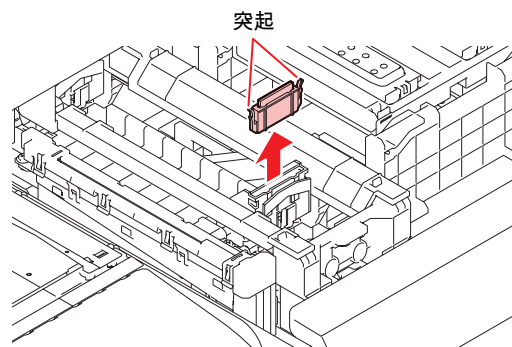


- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

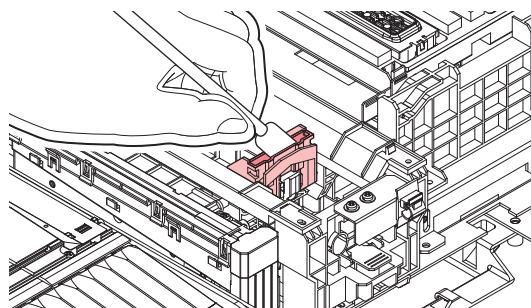
ワイパーの交換

本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"ワイパー交換"が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

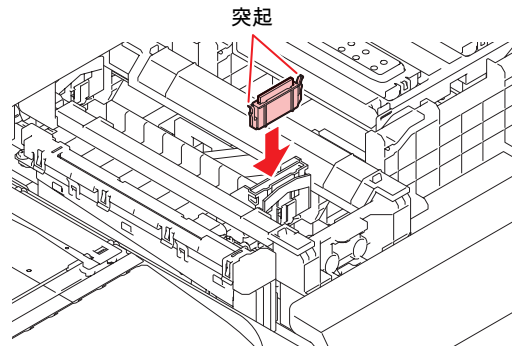
- 1 ディスプレイに"ワイパー交換"が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 4 正面カバーを開く。
- 5 ワイパーを外す。
 - ・ ワイパーブラケットの両端の突起を持って引き抜きます。



- 6 ワイパーライダーを清掃する。
 - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



8 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ・ ワイパーの使用回数が初期化されます。

キャップ吸収材の交換

本機は使用回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"キャップ吸収材交換"が表示されます。

キャップ吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合も、新しいキャップ吸収材に交換してください。

1 ディスプレイにメッセージ"キャップ吸収材交換"が表示される。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

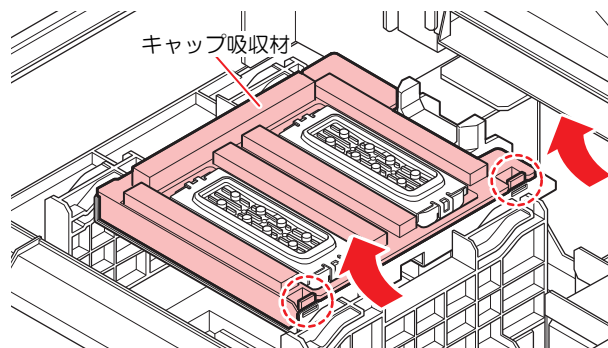
- ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- ・ キャップ吸収材の使用回数が初期化されます。

3 主電源を切る。

4 正面カバーを開く。

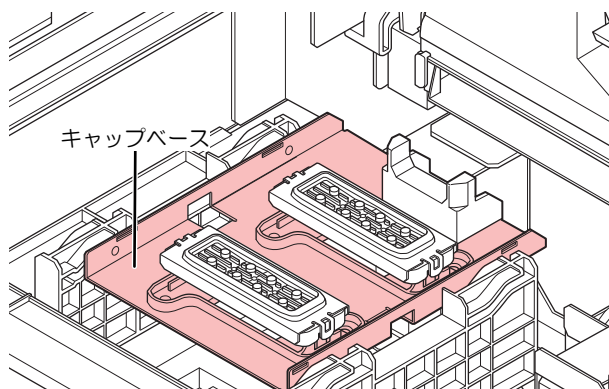
5 キャップ吸収材を外す。

- ・ 手前のツメを押し上げて外します。



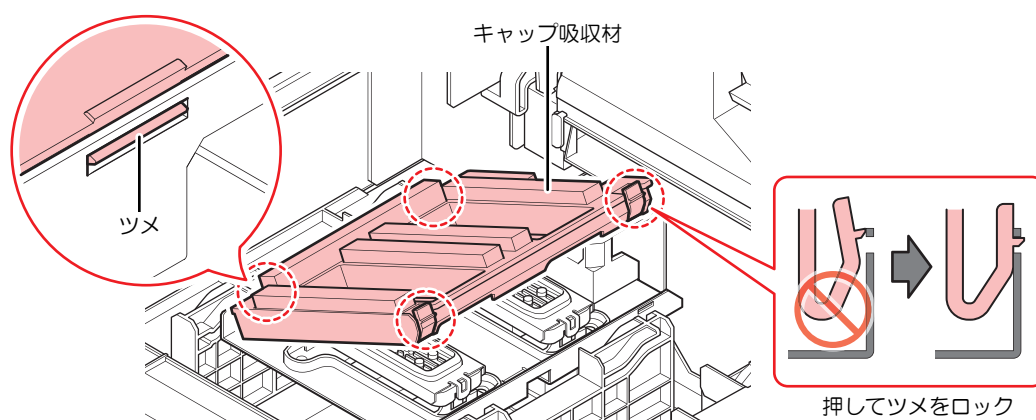
- ・ キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

6 キャリッジベースを清掃する。



7 新しいキャップ吸収材をセットする。

- Cスライダーの奥側のスリットにキャップ吸収材のツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。



8 交換が終わったら、ワイパーを手動で奥に戻す。

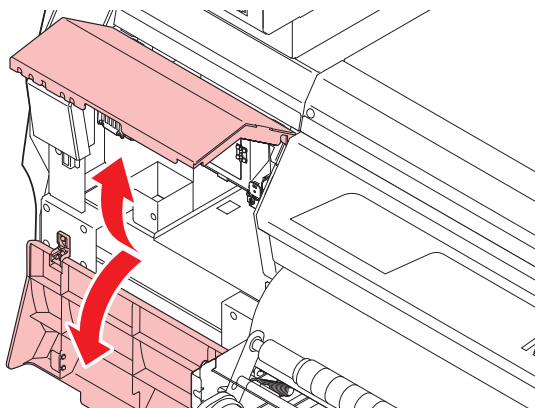
9 正面カバーを閉めて、電源を入れる。

- キャリッジがステーションに戻ることを確認してください。

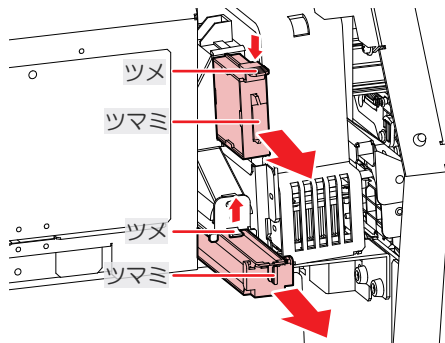
ミストフィルターの交換

ミストフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



- 4 ミストフィルターBOXを外す。
 - ・ ツメを矢印の方向に押しながら、矢印の方向にスライドさせて外します。



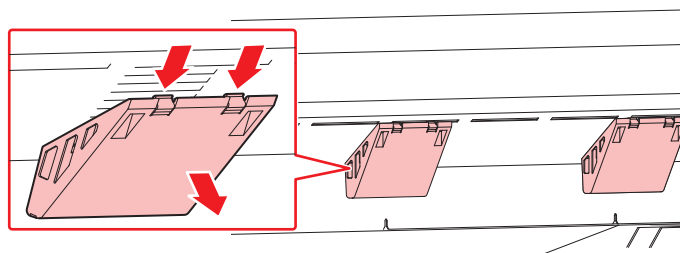
- 5 新しいミストフィルターに交換する。
- 6 ミストフィルターBOXをセットする。
 - ・ カチッと音がするまで挿し込んで、ツメが固定されたことを確認してください。
- 7 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

排気ファンフィルターの交換

排気ファンフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

1 排気ファンBOXを外す。

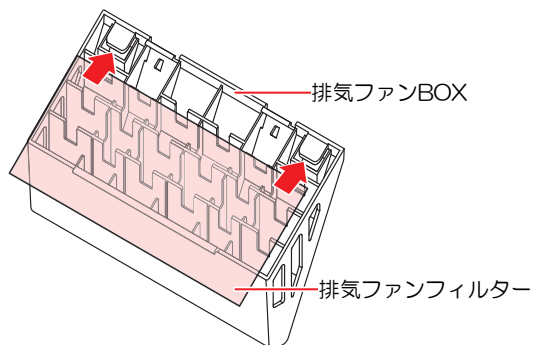
- 手前のツメを押して外します。



- 排気ファンBOXの汚れが激しいときは、新しい排気ファンBOXに交換してください。

2 排気ファンBOXに新しい排気ファンフィルターをセットする。

- 排気ファンBOXのツメのすき間に排気ファンフィルターを挿し込みます。



3 排気ファンBOXをセットする。

- 本機のスリットに排気ファンBOXのツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。

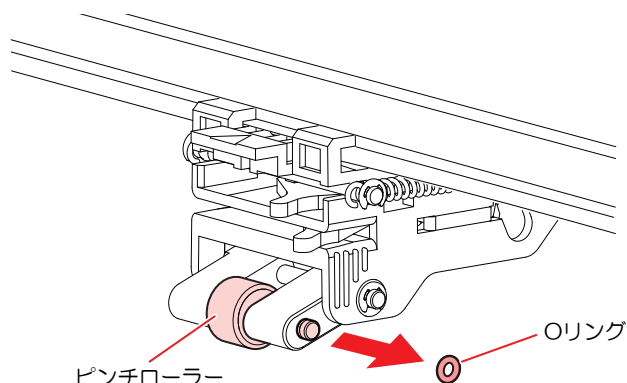
ピンチローラーの交換

本機は印刷距離をカウントして、規定値になるとディスプレイに“ピンチローラー交換”が表示されます。ピンチローラーを清掃しても、粘着層の乱れやピンチローラーへの貼り付きが発生するときは、新しいピンチローラーに交換してください。



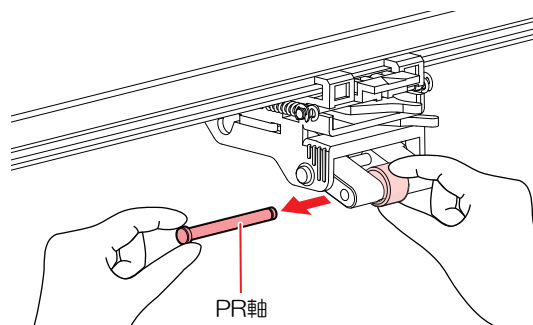
- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 ピンチローラを固定しているOリングを外す。



- ・ 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

- 4 PR軸を外す。



- 5 新しいピンチローラー(SP-01015)をセットして、PR軸を通し、Oリングで固定する。
- 6 正面カバーを閉める。
- 7 電源を入れる。
- 8 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] > [ピンチローラー] > [交換] を選択して、[ENTER] キーを押す。
 - ・ 交換メッセージが消えます。



- ・ ピンチローラーにはメディアの粘着剤が付着します。定期的に交換してください。
- ・ 交換時期の目安: 3か月

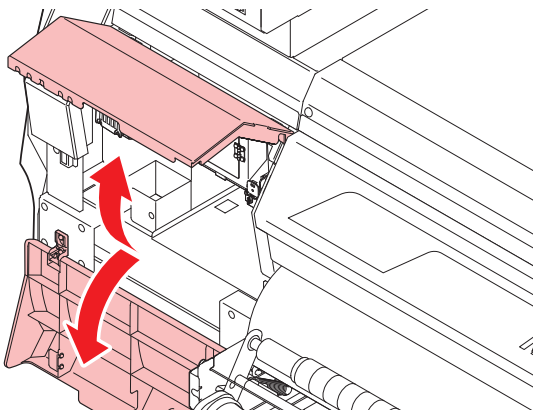
メディア押さえの交換

メディア押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえに交換してください。



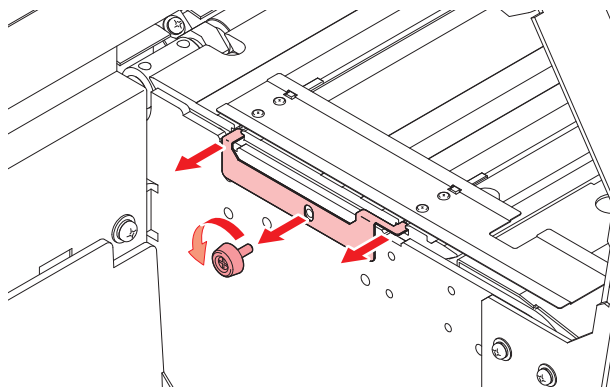
- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

1 メンテナンスカバーを開く。

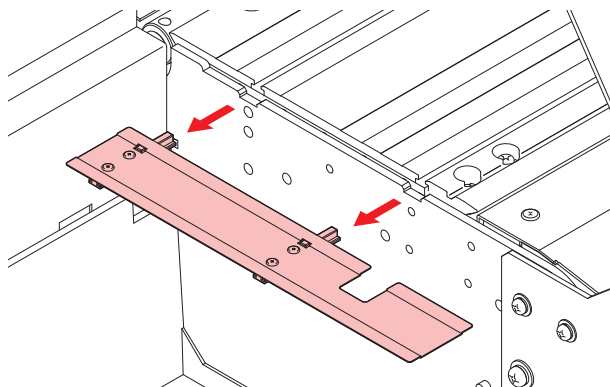


2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。

- 下図のように、メディア押さえがネジ止めされていないタイプのももありますが、下図のように、メディア押さえがネジ止めされていないタイプのももありますが、プラテンからの取り外し方は同じです。

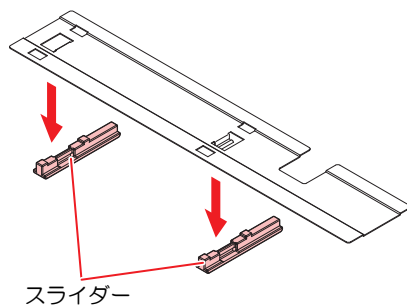


3 メディア押さえを外す。



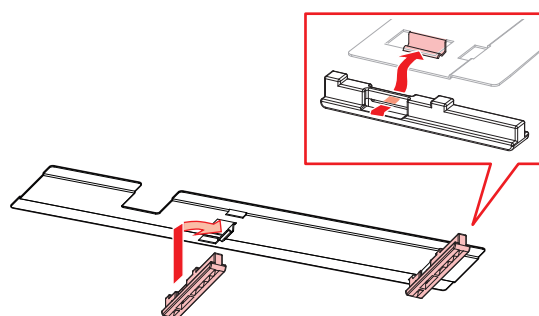
- スライダーがメディア押さえにネジ止めされている場合は、取り外したメディア押さえを破棄し、代わりに、付属のメディア押さえに交換してください。

4 メディア押さえから、スライダーを外す。（ネジ止めタイプではない場合）

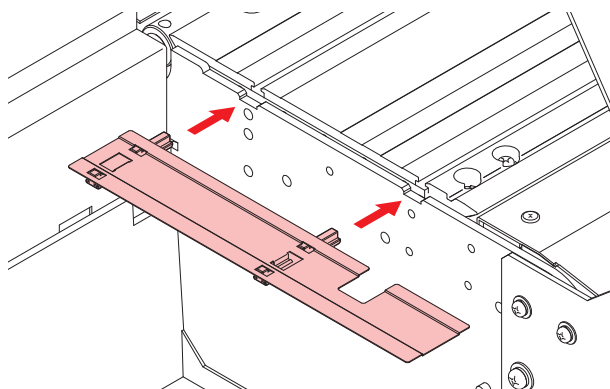


5 新しいメディア押さえに、スライダーを取り付ける。

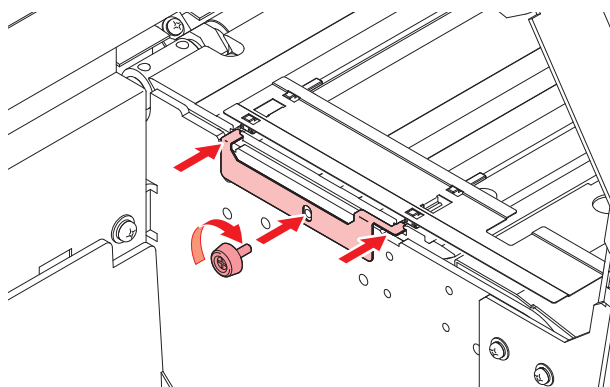
- メディア押さえの突起にスライダーの穴を引っ掛けます。



6 プラテンに新しいメディア押さをセットする。



7 メディア押さえストッパーをネジで固定する。



8 メンテナンスカバーを閉める。

廃インクタンクの交換

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機右下にある廃インクタンクにたまります。

本機はインクの排出量をカウントして、規定値になるとディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されます。廃インクタンクを交換する目安としてお使いください。



- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

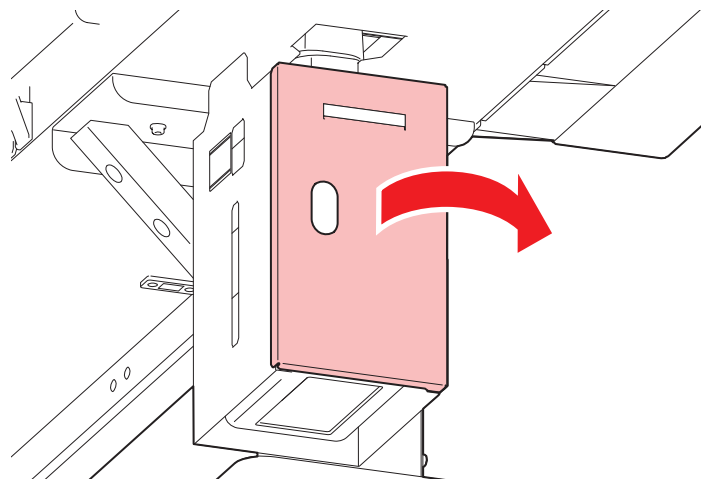
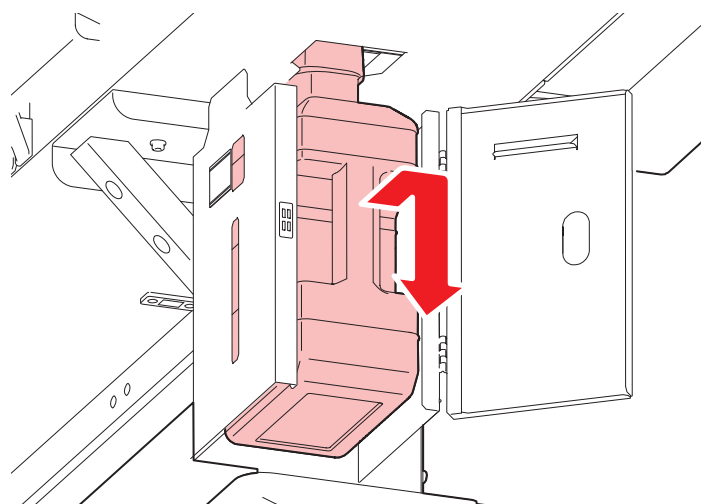
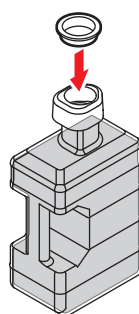


メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

- 1 ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示される。
- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。
 - 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
 - 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、 「[廃インクタンクを交換する](#)」（P. 34）を実施してください。
- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 4 [廃インクタンク交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)”と表示されます。
- 5 ▲▼を押して、レベルを調整する。
- 6 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

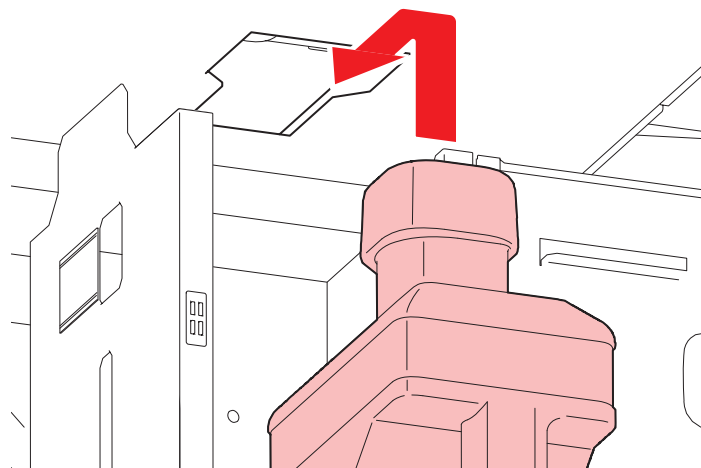
廃インクタンクを交換する

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [廃インクタンク交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)”と表示されます。

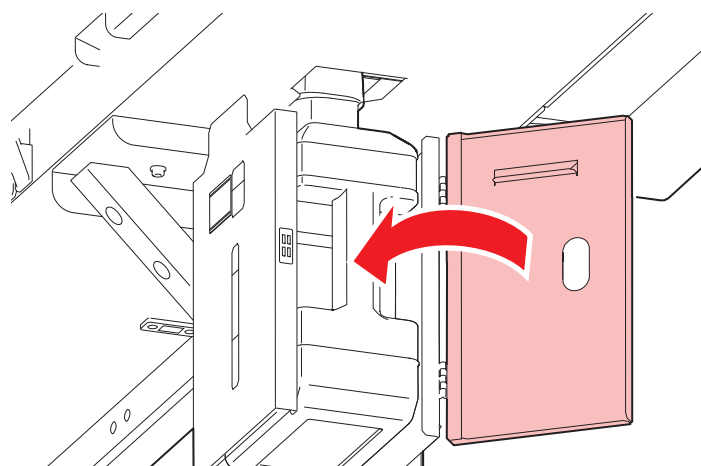
3 廃インクタンクのカバーを開く。**4** 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。**5** 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

6 新しい廃インクタンクをセットする



7 廃インクタンクのカバーを閉じる。



8 [ENTER]キーを押す。

- ・ 廃インク排出量が初期化されます。

インクボトルキャップの交換

1年を目安に交換してください。交換方法はインクを交換するを参照してください。



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

お手入れのお願い

2025年6月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

